



2019.9.30 VOL.131

茨城県PTA連絡協議会

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1丁目5番38号
電話：029-227-4779 FAX：029-231-3878
E-mail：webmaster@ibarakiken-pta.ne.jp
ホームページ：http://www.ibarakiken-pta.ne.jp
編集：同 広報委員会

もくじ

- 1 表紙
- 2-3 令和元年度 新体制の顔ぶれと抱負
- 4 PTA広報紙の作り方研修会
第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会に参加して
- 5 女性ネットワーク委員会からのご報告
- 6 案内 令和元年度茨城県PTA振興大会開催のお知らせ
三行詩コンクール茨城県審査の結果
書き損じはがき回収活動
- 7 県内ホッと情報
- 8 (一社)茨城県PTA安全互助会からのお知らせ

令和元年度スローガン

子どもたちの未来に向けて、 つながり、学び、協力し合うPTA

～新たな1年、ともに進もう、PTA チームワーク～



定期総会会長あいさつ



県南地区PTA指導者研修会



女性ネットワーク委員会研修会



広報紙作り研修会

各市町村PTA、各単位PTAの皆さん、そして会員の皆さん、
それぞれの良さや経験を、お互いに伝え合い、
みんなでもう一つ上を目指していきましょう。



本年度は、会員数 191,372 人 単位PTA数 687 で出発です。
(令和元年5月31日現在)



副会長 畠山 佳樹

(中央地区

那珂市立芳野小学校)

今年度副会長3年目となります。畠山佳樹です。

PTA 活動を通じて私が感じるのは、子どもたちのためという目標のもと、保護者が笑顔で協力しあう活動は本当に素晴らしいと思うと同時に、青春時代の若さを取り戻したように、保護者も楽しめる抛り所の一つだということです。また、先生方や保護者同士の交流から刺激を受け、成長の糧を得られる場所でもあります。多くの人にとって、PTA がそのような場所になるように、今年度も微力ながら頑張っています。



組織運営委員会

県内では、少子化による小中学校の統廃合が進む一方、沿線開発で小中学校の建設が間に合わない地域もあるなど、県内の環境は大きく変化しています。同じようにPTA のあり方も外部環境に合わせて変化が求められています。

組織運営委員会では、今までの歴史を踏まえながら、限られた予算の中での将来的な組織のあるべき姿を考え、茨城県 PTA が今後も子どもたちを支える重要な存在であり続けられるように議論していきたいと思ひます。

副会長 根本 高明

(県東地区

行方市立麻生中学校)

今年度、副会長2年目となりました。子どもたちが学校で学ぶことに加え、家庭教育が重要視される今、私たち保護者が責任をもって子どもたちに伝えていかなければならないことがたくさんあります。保護者への学習機会の支援は、PTA の大切な活動となっています。

子どもたちを見守る環境づくりにかかわるすべての人に、PTA 活動が有意義なものとなるよう、そのお手伝いができればと思ひております。皆様のお力をお借りして活動に励んで参りたいと思ひます。何卒宜しくお願ひいたします。



広報委員会

広報委員会では、広報誌「われら茨P連」の年2回の発行を通じて、県PTA の行事の他、県内の各PTA が行っている活動をご紹介します。県内のPTA 会員の皆さんが、個性豊かな活動をされていることを知っていただき、今後のPTA 活動に活かしていただければ幸いです。

私も、初めての広報委員ですが、楽しんで活動していきたいと思ひています。



副会長 森山 克彦

(県南地区

守谷市立大井沢小学校)

今年度から副会長に就任いたしました森山と申します。

子どもたちを見ていると、それぞれに悩みを抱えながらも、一生懸命成長しようとしているのがわかります。PTA は子どもたちの幸せを願う大人たちの集まりです。PTA 会員が元気に前向きに活動することが、子どもたち一人ひとりが大きく羽ばたく手助けになると信じています。

かけがえのない学びと経験を与えてくれる周囲の方々への感謝の気持ちも忘れず、明るく元気に皆様と共に1年間頑張りたいと思ひます。



教育問題委員会

教育問題は、子どもたち自身に関わる問題はもちろん、先生方を取り巻く問題、家庭環境の問題と多岐にわたります。昨年度までの「いじめ対策」への取組を継続しつつ、今年度は他の委員会、内外の諸団体の活動と結び付け、他の課題についても研究していきたいと考えています。

より多くの子どもたちに安全・安心な教育環境を提供できるよう、会員の皆様との連携に努めたいと思ひますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

令和元 新体制 顔ぶれ



会長 山本 主税

(県東地区 鹿嶋市立大同西小学校)

副会長 篠崎 圭一郎

(県西地区 常総市立石下西中学校)

今年度、副会長を務めさせていただくことになりました篠崎です。小学校のPTA 副会長から6年間、役員を務めさせていただいています。PTA 活動の中で、いつも子どもたちの笑顔に支えられています。

子どもたちを取り巻く環境において、社会の変化だけではなく、防犯や防災、そして親との関わり方そのものも大きな課題となっています。親としてPTA として、子どもたちの何を守るべきか、何を助ける



年度 の と抱負

副会長 小野 智久

(県北地区 日立市立多賀中学校)

今年度、県北地区において副会長を務めさせていただきます小野智久と申します。県北地区は、学校数78校と比較的少ない地区ですが、その分、各学校との意思疎通を図りながら、ベクトルを合わせていきたいと考えております。PTAというコミュニティにとって大切なこと、自分の子どもと同じように学校の子どもたちにとって大切なこと、そういう事柄をPTA会員の皆様と一緒に考え、実現していきたいと思っております。子どもたちを思う保護者の集まりであるからこそ、おかしき事はおかしきと言えるし、多種多様な方々が話し合うことでより良い建設的な意見が出てくると思っております。PTAとして本当に必要なことは、そのコミュニティで集約した意見を、社会に対して発信することだと思っております。社会とは、時には学校であったり、教育委員会であったり、他の行政機関であったり、地域であったり、自らのPTAであったりします。そんな社会との大きなつながりの輪ができるとよいと考えております。



皆様には、日ごろより本協議会の活動にご理解とご協力をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。引き続き会長を仰せつかりました山本 主税と申します。

私どもは、今年度「子どもたちの未来に向けて、つながり、学び、協力し合うPTA」というスローガンを設定いたしました。そこには、70周年記念事業を通して得た「人と人とのつながり」という成果を、「個々の会員はもちろん、各単Pや市町村Pに広げ、それぞれの良さや経験を、お互いに知り合うことで、みんなでもう一歩上を目指していく。」という思いを込めています。そのことが、ひいては基本方針にうたわれている「子どもたちの安全と健やかな成長」という私たちの願いの実現に近づくことになると考えています。

「令和」という区切りを迎えて、これからのために、さまざまな活動の見直しや改善を、新たにスタートさせたいと思っております。皆様の変わらぬご支援をいただければ幸いに存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

小野瀬 繁子

(学校長会 水戸市立第三中学校)

今年度、茨城県学校長会の代表としまして、副会長を務めさせていただきます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

今年度のスローガン「子どもたちの未来に向けて、つながり、学び、協力し合うPTA」ともと、茨城県PTA連絡協議会の一員として共に学び、新しい時代に活躍する子どもの育成に尽力していきたいと思っております。

時代の変化、社会の高度情報化に伴い、子どもたちは、日々多様な課題に向き合っています。今こそ、子どもたちも保護者も学校も地域も、人と人とのつながりが重要な意味をもつと思っております。先輩方が積み上げてきたネットワークを大切に、個々の力を合わせ、知恵を出し合い、子どもたちの健やかな成長を支えるチームワークを発揮していきましょう。



副会長 佐野 由美子

(県北地区 高萩市立東小学校)

今年度、副会長を務めさせていただきます佐野由美子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

子どもたちが、私たちに見せる姿は年々変わってきています。「子どもを育てると難しいな。」と感じることも多くあると思っております。だからこそ顔を合わせ、会話をし、お互いにつながっていくことを大切にしたいと思っております。保護者の皆様、先生方、地域の皆様のご協力を得て、つながるために様々なサポートをしていけたらと思っております。

女性ネットワーク委員会

私たちと子どもをつなぐもの、保護者同士をつなぐもの、それがコミュニケーション(会話)です。私たちは、令和元年度の活動テーマを「大切な我が子を守るために」と題して、このコミュニケーションについて考え、学び、伝え合っていこうと考えています。そして委員会の活動を通して、保護者相互のコミュニケーションが深まり、それぞれの子育てや子どもとの関わりに役立つよう努めてまいりたいと思っております。



べきか、何を教えるべきか、一人ひとりの力が微力でも、連絡協議会としてつながることで、解決できることがあるのではないかと思います。学校、家庭、地域が密に連携し、子どもたちを育てていく必要があると思っております。そのためには、私たち大人が様々な活動を通して学び育つことが、最も重要であると思っております。

どうか皆様のご協力を、心よりお願い申し上げます。



報告 PTA広報紙の作り方研修会



本年度は、6月4日(火)と6月11日(火)の両日、それぞれ水戸生涯学習センター並びに県西生涯学習センターを会場に、坂場 安男先生(元茨城県新聞教育研究会会長、県広報紙コンクール審査員)を講師にお迎えし、「PTA広報紙の作り方研修会」を開催いたしました。両会場合わせて、72名の皆様にご参加いただきましたこと感謝申し上げます。講師の先生からは、前半広報紙の作り方のポイントや注意点について事例をもとにご指導をいただき、後半は実習と参加者相互の情報交換を行いました。

参加者の皆様より

- 読んで楽しくPTAのためになる広報紙、記録だけではない広報紙作りをという話が目からウロコでした。PTA活動をしてみたいなる広報紙を目指したいと思います。
- カルチャーショックでした。ただ先輩からの引継ぎで間違いなく発行することだけを考えていました。「こんな作り方もあるんだ!」とショックが大きく、でも、それを知っただけでも参加できてよかったです。
- 初めてこのような研修会に参加させていただきました。違う学校の広報紙を見る機会をいただき、とても参考になりました。今日学んだことを参考に次回の紙面作りに役立てたいと思います。
- 大変わかりやすく説明していただけたのでよかったです。実習や情報交換もあったので、充実した内容でした。ただ、最近は活字離れが進んでいるので、そういった保護者の方をキャッチできるようなものを具体的に教えていただけると、もっとよかったです。

ちょっといい話 第28回 茨城県PTA広報紙コンクールについて

今年度は、38校からの応募をいただきました。ありがとうございます。5月15日(水)より審査を行い、下記のような結果となりましたので、お知らせいたします。

※ 入賞校 小学校10校、中学校(義務教育学校を含む)6校 ☆印は、本協議会より、第41回全国小・中学校PTA広報紙コンクールに応募させていただいた団体です。

小学校	☆水戸市立三の丸小学校PTA	☆筑西市立伊謨小学校PTA	☆水戸市立梅が丘小学校PTA	☆阿見町立阿見小学校PTA	☆水戸市立石川小学校PTA
	☆笠間市立笠間小学校PTA	水戸市立浜田小学校PTA	稲敷市立江戸崎小学校PTA	さくら並木学園つくば市立並木小学校PTA	日立市立大久保小学校父母と先生の会
中学校	☆茨城大学教育学部附属中学校PTA	☆ひたちなか市立那珂湊中学校PTA	☆水戸市立第二中学校PTA		
	☆わかさ学園那珂市立第四中学校PTA	つくば市立秀峰筑波義務教育学校PTA	守谷市立御所ヶ丘中学校PTA		

※ 今年度作成された広報紙を対象とする次年度の広報紙コンクールの応募についてのご案内は、令和2年2月頃に各学校宛に配付する予定であります。

応募期間は令和2年3月~4月末となります。せっかく作成された広報紙ですので、ぜひ、このコンクールにチャレンジしてみてください。



第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会に参加して

報告

大会スローガン「つなげよう『いのち』のバトン次世代を生き抜く子どもたちへ ~ 地域とともに育む力 兵庫から~」のもと、兵庫大会へ茨城県から55名が参加いたしました。

初日は、姫路市にて地元中学生の熱いコーラスや演奏に迎えられ、特別第1分科会(〈研究課題〉「いじめ」なんてかわるい!~我が子を当事者にさせないために~)に参加いたしました。上越教育大学大学院教授 高橋知己先生よりご講演をいただき、いじめの早期発見の難しさを知るとともに、子どもと先生、そして保護者が繋がることの大切さ、誤った視点での「自立」のとらえ方によって「孤立」してしまう子どもたちを守らなければいけないことを学びました。

2日目は、神戸市にて全体会が行われ、前茨城県P連会長でもある日本PTA全国協議会佐藤会長よりごあいさつをいただき、宝塚OGによる華やかで迫力のあるアトラクション、そしてメンタリスト DaiGo さんによる記念講演と続けました。講演では、メンタルを鍛えコントロールすることで、子育てが楽になり自分自身も一歩前進できるということを学びました。

ご一緒いただいたPTAの皆さん、計画していただいた関係者の皆さん、とても有意義な2日間をありがとうございました。来年の全国大会は、富山で開催されます。一人でも多くの方に参加していただけることを期待しております。

水戸市PTA連絡協議会会長 萩野 元弘





令和元年度 茨城県女性ネットワーク委員会からのご報告



6月29日(土)、大洗文化センターを会場に、令和元年度茨P連女性ネットワーク委員会研修会を開催いたしました。朝方まで雨が残る天候の中、県内各地より727名の多くの方にご参加をいただき、心より感謝申し上げます。

第1部は、佐藤秀行日本PTA全国協議会会長より、「いじめの問題」についてご講演いただきました。現在の様々ないじめの様相、いち早く気付くことの大切さ、そして、そのために親子だけでなく、先生方、地域の方々とのコミュニケーションが大切であるというお話をいただきました。また、参考になる書籍の紹介もありました。講演の中では、PTAの在り方についても言及され、あっという間の30分でした。

第2部は、「子どもをいじめに向かわせないために」という未然防止の視点から、どのように子どもと向き合うのかを、パネリストの方を中心にディスカッションを行いました。お母さんの立場やお父さんの立場、そして学校ではどう対応しているのかを、それぞれの実践や体験をもとにお話をいただきました。「ノーメディアデー」や「ふだんの会話を大切にすること」など、各家庭で実践できるようなヒントが紹介されていました。

最後になりましたが、開催にあたりご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。

茨P連女性ネットワーク委員会
委員長 佐野 由美子

令和元年度茨P連女性ネットワーク委員会委員の紹介

委員長	佐野 由美子	高萩市立東小学校	委員	鈴木 信子	水戸市立吉沢小学校
副委員長	弓野 純子	水戸市立飯富小学校	委員	佐藤 ゆかり	北茨城市立関本小中学校
副委員長	舟生 文	高萩市立松岡中学校	委員	根本 美保子	鉾田市立上島東小学校
副委員長	佐生 真里	神栖市立横瀬小学校	委員	添野 真理子	つくばみらい市立伊奈中学校
副委員長	樋口 弓子	桜学園つくば市立栗原小学校	委員	滝田 里美	五霞町立五霞西小学校
副委員長	岡部 奈美	結城市立江川北小学校	顧問	會澤 香理	水戸市立赤塚中学校



～令和元年度地区別活動テーマ～

中央地区

「親子でメディアコミュニケーションの理解を深めよう」
～子どもたちが幸せになるために～

県北地区

「子どもたちの未来のために」
～今、一緒に出来ること～

県東地区

「我が子を護るためのコミュニケーション」

県南地区

「地域との輪をつなげよう」
～大切な子どもを守るために～

県西地区

「目を見て話そう！
小さな変化を見逃さないで」

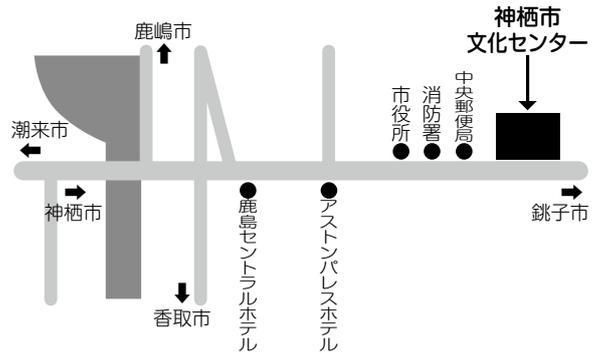


令和元年度 茨城県 PTA 振興大会のお知らせ

今年度の振興大会は、神栖市を会場に以下のように開催いたします。
 たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

茨城県 PTA 振興大会

期 日 令和元年11月24日(日)
時 間 13:00~16:30
会 場 神栖市文化センター
 神栖市溝口4991-4
 TEL 0299-90-5511



主な日程

- アトラクション「潮来囃子」
- PTA活動発表
- 基調講演 茨城県教育委員会教育長 柴原 宏一 様

なお、12月7日(土)には、各種表彰、コンクール等の入賞者に係る表彰式典を、ホテルレイクビュー水戸にて予定しております。参加対象の皆様には、後日ご案内をお送りさせていただきます。



おめでとうございます。

令和元年度楽しい子育て全国キャンペーン「三行詩コンクール」

茨城県審査会の結果

今年度は、小学生、中学生、そして一般の方合わせて652名の皆様にご応募いただきました。ありがとうございました。
 茨城県PTA連絡協議会会長賞 優秀賞 (日本PTA全国協議会へ出品)

小学生

大洗町立南小学校 1年 田山 楓季 境町立境小学校 1年 林 心花 古河市立上大野小学校 2年 後藤 史燕
 境町立境小学校 4年 染谷 実和 古河市立上大野小学校 6年 羽部 統真

中学生

古河市立三和北中学校 1年 金子 美優 常陸太田市立瑞竜中学校 1年 林 伸幸
 常陸太田市立瑞竜中学校 1年 岩間 創大 常陸太田市立瑞竜中学校 2年 菊池 真樹 鹿嶋市立平井中学校 1年 奥川 彩雪

一般

ひたちなか市立勝倉小学校 大貫 奈津子 守谷市立御所ヶ丘中学校 野原 すみ江 石岡市立林小学校 戸江 直美
 石岡市立林小学校 大久保 治彦 常陸大宮市立大賀小学校 横山 孝浩

※ 茨城県PTA連絡協議会会長賞 入選 小学生10名、中学生5名、一般5名

※ 敬称略

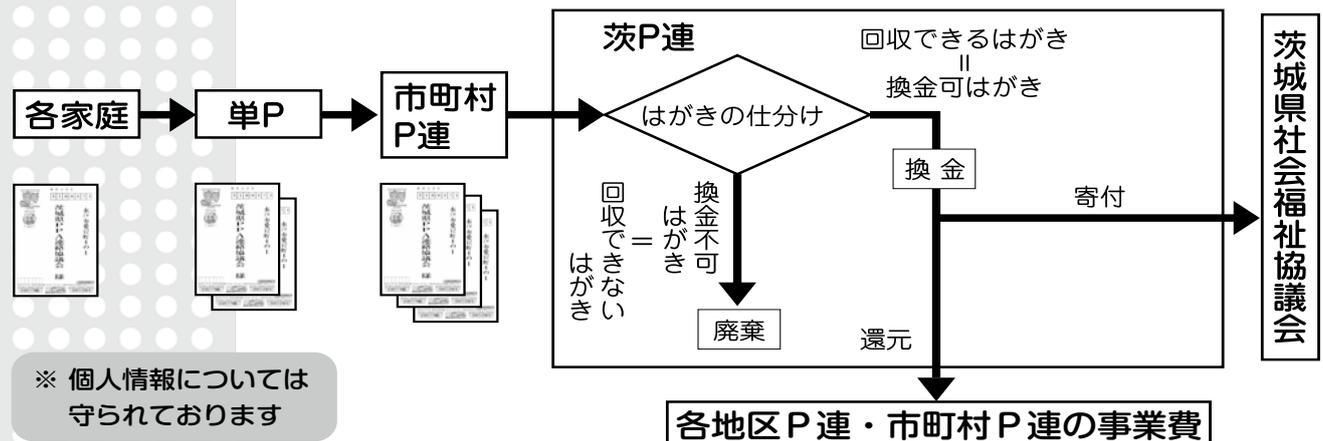
あなたの善意をお待ちしております

書き損じはがき回収活動 ～会員1人1枚以上を目指して！～

お預かりした書き損じはがきは、次の目的のために使用させていただきます。

- 各地区P連・市町村P連への活動補助のために。
- 茨城県社会福祉協議会等への寄付を通じて、福祉のために。

【回収方法】 各家庭 → 学校(単P) → 市町村P連 → 茨P連



※ 個人情報については
守られています

**県内 ホット情報 PTCA連携でわんぱく思い出作り「わんぱく体験豊浦村」 県北地区**

日立市の豊浦学区では、毎年夏休みに小学校4年生から6年生の希望者を対象にした「わんぱく体験豊浦村」を開催しています。募集は豊浦小学校と近隣の櫛形小学校の児童に対して行っています。

わんぱく体験豊浦村は、豊浦学区まちづくり推進会が中心となり、豊浦小学校、豊浦中学校、それぞれの学校のPTA、オヤジの会がスタッフとなり運営に当たります。

豊浦学区には、川尻海岸や川尻漁港、十王川河口、古くからの言い伝えが残る神社、貴重な文化財であるかんぶり穴(横穴墓群)などがあり、地理的に恵まれた地域です。

わんぱく体験豊浦村は、豊浦小学校をベースとして、豊浦学区内を巡るウォークラリー、川尻漁協の協力による漁船乗船体験、焚き火による夕食調理、夜の学校体験、学校敷地内宿泊、豊浦中学校プールでのカヌー体験などを行います。



わんぱく体験豊浦村に参加する児童は、参加にあたって事前に目標を立てます。開村式では参加者全員の前で自分の目標を宣言します。1泊2日の体験を終えた閉村式では、その目標をどの程度達成できたか、どのように達成したかを発表し2日間の体験を振り返ります。

豊浦で育ったことを夏休みの思い出として残して欲しいという願いと、子どもたちにわんぱくな体験を通じて成長して欲しいという思いで毎年開催しています。

日立市PTA連絡協議会副会長 日立市立豊浦中学校 磯崎 潤一

県内 ホット情報 笑顔でいるから笑顔になる

県東地区

潮来市立牛堀中学校では、毎年生徒会主催のイベントとして文化祭が行われます。伝統ある「歌の祭典」です。先生と生徒たちが真剣に練習を積み重ね、肩を寄せ合い、素晴らしい合唱が、観客の保護者や地域の方々に感動を与えます。また、お笑いのコント劇などもあって、会場を笑いに包み込み、子どもたちの新しい可能性など、普段とは違う面白い一面がみられるのもみどころです。そんな子どもたちの頑張りに、私たちPTAも何かできないかと始めたのが模擬店です。綿菓子やフランクフルトなど、他にも学年委員会ではコーヒーショップやバザーなども出店



しています。子どもたちに『美味しかった!』と言われると

こんなにうれしいことはありません。PTA事業を通して、子どもたちとの直接話せコミュニケーションがとれたこと、また子ども一人ひとりの笑顔がみられたことはとてもよかったと思っています。これからも私たちPTAは、学校や地域と連携し「子どもたちが笑顔になれるように、笑顔で活動していきたい。」と思っています。



潮来市立牛堀中学校 PTA会長 過足 雄介



一般社団法人 茨城県PTA安全互助会からのお知らせ

当会は会員の皆様が安心して PTA 活動ができるよう PTA 会長の頼れるサポーターとして事業に取り組んでおります。主な事業は、以下に示す事故等に対応し、共済金や見舞金を給付しています。

〈 共済金の区分と補償内容、共済金額及び被共済者の範囲 〉

共済金の区分	補償内容	共済金額
① 死亡共済金	PTA主催又は共催による活動中の傷害（急激かつ偶然外来の事故により身体に被った傷害に限る。以下同じ。）により、事故の発生日からその日を含めて180日以内に死亡したとき（熱中症によるものを含む。）	200万円
② 死亡共済金	PTA主催又は共催による活動中において突然死（上記が適用されない疾病による急死）したとき	100万円
③ 後遺障害共済金	PTA主催又は共催による活動中の傷害により、事故の発生日からその日を含めて180日以内に共済約款に定める身体障害の状態（後遺障害）となったとき	6万円～200万円
④ 負傷共済金	PTA主催又は共催による活動中における傷害により、入院又は通院したとき	5千円～12万円
⑤ 手術共済金	PTA主催又は共催による活動中における傷害により、その直接の結果として入院をとらなう手術をしたとき	2万円～4万円
⑥ 疾病共済金	PTA主催又は共催による活動中における発病等により、入院又は通院したとき	5千円～3万円
⑦ 入院共済金	PTA主催又は共催による活動中に急激に心臓疾患、脳出血、脳梗塞等を発症し、その直接の結果として入院したとき	3万円

【被共済者の範囲】

- ア 単位PTA会員である保護者、教職員及び当該単位PTAを組織する学校に在籍する児童生徒等
- イ 児童生徒等の同居の親族
- ウ PTA行事への参加が事前にPTAより認められている活動の指導者及び支援者で、次に掲げる者としてします。
 - ① 正会員及び準会員の構成員からの依頼による代理出席者
 - ② 当会の役員、事務局員、県P連等の関連団体の役員及び事務局員
 - ③ 会員の構成員がPTA活動に参加するため、やむなく同伴した子
 - ④ ストリーチャー、学校支援ボランティア、学校安全パトロール隊、子どもを守る110番の家に従事する者等の活動の指導者及び支援者のうち、当会が承認する者
 - ⑤ 当会が承認したPTA関連団体の構成員

【給付例】



【注意喚起】

- ・アキレス腱断裂等の重度の負傷事故が増えています。準備運動を入念にしましょう。
- ・刈払機による小石が飛んでのガラス破損が多く発生していますので周囲に十分注意を！

〈 見舞金の種類と給付条件及び給付金額 〉

見舞金の種類	給付条件	給付金額
眼鏡見舞金	PTA主催又は共催による活動中の事故により、会員所有の眼鏡を破損したとき	実費（2万円限度）
香料見舞金	PTA活動中の如何にかかわらず、会員及び園児・児童・生徒が死亡したとき	一律 1万円
賠償見舞金	PTA主催又は共催による活動中に、PTAが法律上の賠償責任を負ったとき	対人最高 2億円 対物最高 500万円

※安全普及啓発活動も継続して実施していますのでご活用ください。詳しくはホームページをご覧ください。

編集後記

たくさんの方々のご協力をいただき、「われら茨P連 VOL.131」を無事発行することができました。心より感謝申し上げます。県内PTA会員の皆様の情熱ある活動の記事が、多くの皆様の今後のPTA活動の一助になれば幸いです。引き続き取材等へのご協力をよろしくお願いいたします。 広報委員長 根本 高明